

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月27日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|-----------|
| 事業所番号 | 鹿児島県指定 第4672900158号 | | |
| 法人名 | 医療法人 誠心会 | | |
| 事業所名 | グループホーム あったかハウス東市来 | | |
| 所在地 | 鹿児島県 日置市 東市来町 長里 880-15 (電話) 099-274-7255 | | |
| 評価機関名 | NPO法人 自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 | | |
| 所在地 | 鹿児島市星ヶ峯 4-2-6 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年6月22日 | 評価確定日 | 平成21年7月4日 |

【情報提供票より】(平成21年 3月31 日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 4 月 8 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 12 人 | 常勤 12人 非常勤 0人 常勤換算 12人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 重量鉄骨 | 造り |
| | 1階建ての | ～ 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 16,720 円 | その他の経費(月額) | 11,100 円 |
| 敷金 | 有 (円) | 〇無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 〇有 (30,000円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 〇有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 800 円 | | |

(4) 利用者の概要(3月31日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 3名 | 女性 | 15名 |
| 要介護1 | 0名 | 要介護2 | 3名 | | |
| 要介護3 | 9名 | 要介護4 | 4名 | | |
| 要介護5 | 2名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 87歳 | 最低 | 79歳 | 最高 | 98歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------|
| 協力医療機関名 | 湯の元記念病院 |
|---------|---------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に暖かさを感じるピンクを基調にした「あったかハウス東市来」のホームがある。法人グループの協力病院、福祉施設など充実しており、入居者・家族は安心して過ごしている。食事前の体操など工夫されており、入居者の日常生活能力や心身の機能維持向上に役立っている。法人内のグループホーム同士の勉強会や交流も定期的に行われ、相互に触発しながらサービスの質向上に取り組み、質の高いケアを目指している。地域との交流も活発に進め、地域に密着した生活が展開されている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 運営推進会議を活かした取り組みについては、委員からの地域の情報など活かし、地域住民との交流が活発になるなど改善に努めている。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 評価を、より良いケアを提供するための気づきの機会と捉え、各ユニットごとに話し合い、改善計画シートを作成し、評価を活かしサービスの質向上に取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議で各委員からの情報や意見を受け、地域住民との交流に活かしている。家族代表や他の家族にも交替で参加を依頼し、多くの意見を運営に反映させる取り組みを検討中である。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 面会時は気軽に不満や意見を話してもらえ、雰囲気作りに努めている。年1回の家族会や運営推進会議など家族の意見を聴く機会を設けている。要望や苦情はミーティング時に話し合って改善するようにしている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | ホームの職員が自治会の清掃に参加している。地域の婦人学級のボランティアや小学生の手紙による交流・地域住民が花の苗を持ってこられるなど、地域の人々との交流に務めている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----------|---|--|--------------------------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支 えていくサービスとして、事業所独自の理念をつ くりあげている | 地域の中でその人らしい生活を支援するサービ スとして、法人理念とホーム独自の理念を掲げ ている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に 向けて日々取り組んでいる | 理念を玄関や詰め所の見やすい所に掲示し、 ミーティングや申し送り時に唱和し全職員が共 有しており、理念の実践に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、 自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地 元の人々と交流することに努めている | ホームの職員が自治会の清掃に参加している。 地域の婦人学級のボランティアや小学生との手 紙などによる交流・近隣住民が花の苗を持って こられるなど、地域の人々との交流に務めてい る。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評 価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体 的な改善に取り組んでいる | 内部評価を、より良いケアを提供するための気 づきの機会と捉え、各ユニットごとに話し合 い、改善計画シートを作成し、評価を活かした サービスの質向上に取り組んでいる。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合い を行い、そこでの意見をサービス向上に活かして いる | 運営推進会議では、ホームの取り組みや現状報 告だけでなく、委員からの地域の情報収集や多 くの意見を受け、地域住民との交流が活発にな るなど、サービスの質向上に活かしている。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ホーム便りを届けたり、夏祭りなどのホームの行事に参加を呼びかけたり、関係づくりを積極的に行っており、ともにサービスの質向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 入居者の様子や暮らしぶり等を写真やビデオに撮り、ホーム便り等で報告している。出納帳は面会時に確認してもらっている。健康状態など個別の報告は電話で行っている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時には、家族の思いや意見を話せる雰囲気作りに努めている。年1回の家族会や運営推進会議にも家族の参加を呼びかけ、家族の意見を運営に反映させるように努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動による入居者のダメージを防ぐために、新人教育研修計画を作成し認知症の理解や入居者の状態説明などを研修して、介護の質を高めるようにしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 計画的に外部研修や法人内のグループホームの研修等実施しており、職員を育てる取り組みを行っている。資格取得も積極的に勧め人材育成に取り組んでいる。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会に参加しており、研修や勉強会などの機会があり連携が取れている。法人内のホーム同士で見学や相互訪問に取り組み、活動を通じてサービスの質向上に取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居希望者には本人に面会に行き馴染みの関係を作り、ホームの見学を勧めたり家族と相談しながら、安心して入居できるように工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、野菜づくりや梅干し・らっきょう漬け、生け花など、教えてもらいながら一緒に過ごし支えあっている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日頃の関わりのなかで、入居者の思いや意向を把握するよう努めている。出来ること、出来ないことを把握し、本人にとって最良の支援をすように努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人や家族からの意見を聞き、主治医の意見を参考にして全職員で、アセスメントやモニタリングを行い、利用者本位の介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 期間に応じた見直しや状態変化時など、家族や主治医・職員・必要な関係者等と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療連携体制で24時間の健康管理や、家族と相談しながら通院介助・病院受診・自宅訪問・買い物支援など、入居者の希望に応じた柔軟な支援をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。主治医の応診や訪問看護師による健康管理など、適切な医療が受けられるよう支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携体制をとっており、重度化や終末期の方針があり、入居時に説明し同意書も作成している。職員も方針を共有している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者一人ひとりを尊重し、誇りやプライバシーを大切にケアを実施している。言葉かけや対応などミーティングで話し合い、プライバシーの確保の徹底に努めている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ” ゆっくり、ゆったり、けれどもしつかり” の理念に添って、入居者の体調や状態を見ながら一人ひとりのペースを大切に支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ホームで採れた野菜を使ったり、料理の下ごしらえや準備など手伝ってもらいながら、一緒に楽しく食事をしている。利用者の趣向にも配慮している。年2回くらい外食も実施している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的には一日おきに入浴を支援しているが、希望があれば毎日でも入れる。入浴拒否の方は声かけの工夫や家族の協力を得て入浴を支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯物たたみや食事の準備・片付けなど、できる事は一緒にしている。レクリエーションや書道・カラオケ・誕生会・花見・遠足など、楽しみや気晴らしの支援もしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日は希望や体調に応じて散歩や買い物・ドライブなど、戸外に出る機会を設けている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は鍵をかけずに入居者の様子を見ながら、さりげなく声をかけたり、一緒について行くなど工夫して、自由な暮らしを支援している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回利用者や地域住民の協力を得て、避難訓練や消火訓練を実施している。災害に備えて水や食糧なども準備している。職員寮が隣接しており災害時の協力体制ができています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分摂取量のチェックを行ない記録している。粥や刻み食など一人ひとりに合わせた支援をしている。栄養士の献立を参考にして、栄養バランスにも配慮している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広いホールに天窓からの光が差し込み、ほどよい明るさである。大きいテーブルはいろいろに使え、隣接の和室やソファなどが配置され、居心地よく過ごせる工夫がされている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ベッドとタンスはホームが備え、手作りのカレンダーや作品・写真・人形・花などを飾り、本人が安心して暮らせるように工夫している。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。